

# CILとちぎ通信



だいごう れいわ がつ にちはっこう  
第36号 令和5年7月1日発行



<ul style="list-style-type: none"> <li>はは ・母、シツイさんにして、<sup>むすめ みつこ</sup>娘、<sup>みつこ</sup>充子さん 2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いちごー会とちぎ<sup>いちえ</sup>国体・いちごー会と<sup>いちえ</sup>ちぎ<sup>だいかい</sup>大会開催！ 3</li> <li>多<sup>た</sup>機能型<sup>の</sup>事業所<sup>が</sup>はーと<sup>きよはら</sup>清原<sup>きゅうじょう</sup>球場<sup>ばい</sup>売店<sup>てん</sup> 3</li> <li>に<sup>さん</sup>参加<sup>か</sup>しました</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>が<sup>い</sup>いる</li> <li>～『105<sup>さい</sup>歳の<sup>せい</sup>聖火<sup>せいか</sup>ランナー』と</li> <li>『充<sup>みつこ</sup>子<sup>ご</sup>さんの<sup>ざ</sup>雑<sup>ざっ</sup>記<sup>き</sup>帳<sup>ちょう</sup>』を<sup>よ</sup>読<sup>よ</sup>んで～</li> <li>・カンセキスタジアムいちごー会<sup>いちえひろば</sup>広場 3</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ぜんこくしょうがいしゃ<sup>たいかい</sup>・全国<sup>へい</sup>障害者<sup>かい</sup>スポーツ大会<sup>かい</sup>が閉会 5</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>ばい<sup>てん</sup>てん<sup>さん</sup>か<sup>か</sup>売店<sup>か</sup>に<sup>さん</sup>参加<sup>か</sup>しました</li> <li>・音<sup>おと</sup>羽<sup>わ</sup>シェフ<sup>かんしゅう</sup>監<sup>かん</sup>修<sup>しゅう</sup>の<sup>や</sup>焼き<sup>や</sup>菓子<sup>こ</sup>研<sup>けん</sup>修<sup>しゅう</sup>に<sup>さん</sup>参<sup>さん</sup>加<sup>か</sup>致<sup>ち</sup>しました 6</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<sup>とちぎけん</sup>栃木<sup>けん</sup>県<sup>けん</sup>障<sup>しょう</sup>害<sup>がい</sup>者<sup>しゃ</sup>コ<sup>コ</sup>ミュ<sup>ニ</sup>ケー<sup>シ</sup>ョン<sup>シヨウレイ</sup>条<sup>じョウレイ</sup>例<sup>レイ</sup> 7</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「わく・わくバーチャル<sup>びじゅつかん</sup>美術<sup>びじゅつ</sup>館<sup>かん</sup>U2 022」に<sup>さくひん</sup>作品<sup>しゅつてん</sup>を出<sup>しゅつ</sup>展<sup>てん</sup>しました 8</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<sup>じゅうどう</sup>重度<sup>じゅうどう</sup>訪<sup>ぼう</sup>問<sup>もん</sup>介<sup>かい</sup>護<sup>ご</sup>従<sup>じゅうぎょう</sup>業<sup>ぎょう</sup>者<sup>しゃ</sup>養<sup>よう</sup>成<sup>せい</sup> 9</li> <li>けんしゅうどうこうかてい<sup>けんしゅう</sup>研<sup>けん</sup>修<sup>しゅう</sup>統<sup>とう</sup>合<sup>ごう</sup>課<sup>か</sup>程<sup>てい</sup>が<sup>しゅう</sup>終<sup>じゅう</sup>了<sup>りょう</sup>しま<sup>した</sup>した</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・<sup>ぜんこく</sup>全国<sup>しょうがい</sup>障<sup>しょう</sup>害<sup>がい</sup>者<sup>しゃ</sup>ス<sup>ポ</sup>ー<sup>ツ</sup>大<sup>たい</sup>会<sup>かい</sup> 9</li> <li>・<sup>しんしゅもく</sup>新<sup>しん</sup>種<sup>しゅ</sup>目<sup>もく</sup>ボ<sup>ッ</sup>ッ<sup>チャ</sup> <sup>はくねつ</sup>白<sup>はく</sup>熱<sup>ねつ</sup>！</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<sup>え</sup>デ<sup>ジ</sup>タル<sup>タ</sup>で<sup>えが</sup>絵<sup>え</sup>を<sup>えが</sup>描<sup>えが</sup>く<sup>こと</sup>の<sup>たの</sup>楽<sup>の</sup>し<sup>さ</sup> 10</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・<sup>しょうがいしゃ</sup>障<sup>しょう</sup>害<sup>がい</sup>者<sup>しゃ</sup>権<sup>けん</sup>利<sup>り</sup>条<sup>じョウ</sup>約<sup>やく</sup>の<sup>がく</sup>学<sup>がく</sup>習<sup>しゅう</sup>会<sup>かい</sup>に<sup>がく</sup>参<sup>がく</sup>加<sup>かい</sup>しま<sup>した</sup>した 12</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<sup>オンライン</sup>オン<sup>ライン</sup>学<sup>がく</sup>習<sup>しゅう</sup>会<sup>かい</sup>を<sup>たいかい</sup>開<sup>たい</sup>催<sup>かい</sup>しま<sup>した</sup>した 12</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・<sup>ファミリー</sup>ファミ<sup>リ</sup>ー<sup>マート</sup>マ<sup>ート</sup>に<sup>アート</sup>ア<sup>ート</sup>作<sup>さく</sup>品<sup>ひん</sup>を<sup>た</sup>展<sup>てん</sup>示<sup>し</sup> 14</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<sup>芸術</sup>芸<sup>げい</sup>術<sup>じゆつ</sup>展<sup>てん</sup>で<sup>作</sup>作<sup>さく</sup>品<sup>ひん</sup>が<sup>た</sup>展<sup>てん</sup>示<sup>し</sup>さ<sup>れ</sup>ま<sup>した</sup>した 16</li> </ul>

とくていひえいりかつどうほうじん じりつせいかつ  
特定非営利活動法人 自立生活センターとちぎ

〒321-0923 <sup>とちぎけんうつのみやししもぐりまち</sup>栃木県宇都宮市下栗町2947-8 イースタンピュア 103

<sup>でんわ</sup>電話<sup>でんわ</sup>・FAX : 028-638-2538 E-mail : ciltochigi@silver.plala.or.jp

URL: <https://www.ciltochigi.org/>

はは 母、シツイさんにして、むすめ みつこ 娘、充子さん

さい せい か 105歳の聖火ランナー』と みつこ ざっきちよう よ 『充子さんの雑記帳』を 読んで～

しば ひろみ 柴 洋美

ねん がつ ひ 2022年11月のある日、 しもつけしんぶん わたし だいす ゆうじん はこいしみつこ 下野新聞に 私の大好きな友人の箱石充子さんのお母様こと箱石シツイさんの半生を書いた本が出版した記事を見つけて、 さっそく ほん こうにゆう よ 早速、本を購入して読みました。

はは 母、シツイさんの本『105歳の聖火ランナー』そして、すでに自費出版していた充子さんの本、『充子さんの雑記帳』を 読んで、 はは 母のシツイさんの生き方をしっかりと見つめて、 むすめ みつこ 娘の充子さんが生きてきたと、 わたし かん 私を感じました。

シツイさんは、 じぶん くろう 自分の苦勞をしっかりと自分で受け止めて、 じぶん じぶん 自分で自分を 教育し育てる能力がある方だと思いましたし、 その生き方そのものを、 むすめ みつこ 娘の充子さんが受け取って生きていると思いました。

わたし 私 は、 お二人のように生きられません、 この2冊の本を 読んで、 み 見習いたいなと思う事が沢山ありました。

わたし 私 は、 心 の母と思う充子さんの生き方をしっかりと見つめて、 わたし なか 私の中に 取り入れたいと思いました。

2冊の本が、 沢山のひとよに 読まれる事を願います。





いちご一会とちぎ国体・いちご一会とちぎ大会開催！



多機能型事業所は一と 清原球場売店に参加しました

さいとう やすお  
齋藤 康雄

10月2日に宇都宮市清原球場で行われた国体特別競技の高校野球硬式は、甲子園を湧かせた強豪校が集うだけに観客前売りチケット6,800枚は即完売だったようです。

多くの方が観戦に来て買えたので、多くの商品が売れました！良かったです！

中でも記念缶バッチがよく売れました。その場でその人だけのオンリー缶バッチです。友達やみんなで記念写真を撮ったり、愛犬と一緒に撮ったり、昔の記念写真でも何でも記念缶バッチにしました☺

朝6時に集合し、19時に帰って行きました(^◇^;)スタッフの皆さんご苦労様でした！



カンセキスタジアムいちご一会広場売店に参加しました

さいとう やすお  
齋藤 康雄

10月9日は「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」カンセキスタジアムのいちご一会広場で販売して来ました。多くのお店が出ていて、お客さんも多かったです☺

ステージでは、栃木県足利市の「あしか



かがや たいし  
が輝き大使」で、テレビ東京の番組「THE カラオケ★バトル」で  
つうさん かいめ ゆうしょう は どうし しゅっしん けいおうだい ねん ほり ゆい  
通算12回目の優勝を果たした同市出身の慶応大3年、堀優衣さん（2  
0）いろいろな催しが行われていました。

いちえひろば しばふ くるまいす  
いちご一会広場は、芝生で車椅子  
りようしゃ いどう たいへん なに  
利用者は、移動が大変でした。何か  
はいりよ よ おも  
配慮があっても良かったと思いま  
す。

こんかい はんばい め まえ  
今回の販売は、目の前にガチャガ  
チャが出現！  
しゅつげん  
ガチャの人気は、すごいんだ！と  
にんき  
あらた じっかん  
改めて実感しました！



# 全国障害者スポーツ大会が閉会

さいとう やすお  
齋藤 康雄

がつ にち にち  
10月29日～31日

まで、続いた全国障害者  
スポーツ大会が閉会しま  
した。

ぜんこくしょうがいしゃ  
全国障害者スポーツ  
大会は、栃木県では初め  
での開催となりました  
が、全国の選手団が素晴  
らしい競技を見せて頂き



ました。

ほんほうじん  
本法人もマリーゴールドを植え、他県からお越しになった方々をおもて  
なしをしたり、栃木県の商品を販売をさせて頂きました。

コロナ禍で、職員では2週間前から  
検温や消毒、手洗を徹底し大変でしたが、他県の方々に栃木県の魅力を味わっ  
てもらえたかなと思います。



しば  
※芝  
の上

しろ まん まい ひ つ  
に白いマットを1万3000枚を引き詰  
めたようです。

はじ しょうがいとうじしゃ き  
初めから障害当事者に聞いていれ  
ば、良かったのにね。



# おとわ かんしゅう や が しけんしゅう さんかいた 音羽シェフ監修の焼き菓子研修に参加致しました

みしなあやこ  
三品彩子

がつ がつ とちぎけん しゅさい  
9月、11月に栃木県と、とちぎセルフセンター主催の【つながるココ  
きかく ゆうめい のうか しょうがいしゃしせつ れんけい  
□♥企画～有名シェフとつながろう！～農家・障害者施設が連携した  
しょうひんきょうどうかいはつけんしゅうかい さんか  
商品共同開発研修会】に参加してきました。

こんかい ぜんかい どうよう  
今回は前回と同様にオトワレストラ  
ンのオーナー音羽和紀シェフとパティ  
シエのおとわあすかさんにしどう  
ご指導いただきながら、マドレーヌとフィナンシェ



つく かた まな ごうかく  
の作り方を学んできました。合格すれ  
ば、「音羽シェフ監修」と明記して  
はんばい じっさい つく  
販売できるものです。実際に作って  
るところを見て、くうき い こな  
空気を入れながら粉をふるったり、ま  
混ぜたり、おんど  
温度であたりとお菓子作りはせんさい  
繊細なんだなと感じました。

じぶん つく や かげん ひ  
自分で作ってみると焼き加減や、焦がしバターの火からおろすタイミン  
グだったり、むすか さい  
難しかったです。再チャレンジして今度は上手く焼けるか楽  
しみでした。じむしょ なんと あじみ  
事務所のスタッフに何度も味見をしてもらいアドバイスして  
もらいながらため  
試してみました。

けっか  
テスト結果は…マドレーヌとフィナンシェの  
うちフィナンシェはごうかく さい  
合格し、マドレーヌは再テ  
ストとなってしまいました。じかい や かげん  
次回は焼き加減に  
ちゅうい さい おも  
注意して再チャレンジしたいと思います！



こんかい ちよくせつゆうめい おし  
今回も直接有名シェフやパティシエから教  
えていただけるきちょう ば ほんとう べんきょう こんごなに  
貴重な場でしたので本当に勉強になりました！今後何かに  
やくだ おも  
役立てればいいなと思います。

# 栃木県障害者コミュニケーション条例

さいとう やすお  
齋藤 康雄

12月4日、健康の森で制定記念シンポジウムが開催され、条例の概要  
や共生社会に向けた障害者コミュニケーション支援に関するパネルディ  
スカッションが行われた。

栃木県視覚障害者福祉協会、栃木県聴覚障害者協会、栃木県手をつ  
なぐ育成会からコミュニケーションに関する意見が発表された。

・視覚障害者団体からローソンでは、レジカウンターに「耳マーク」を  
表示した指差しシートを設置してくれて良かった。ファミリーマートで  
も、指差しシート／コミュニケーションボードを設置しはじめた。

・聴覚障害団体からJAFのチャット機能や電話リレーサービス、  
遠隔手話通訳サービスなど便利なサービスについて、また、コロナ禍でマ  
スクをするようになり、口の動きが見えずにコミュニケーションが取れな  
くなった。

・育成会から見た目に分かりにくい障害なので、障害特性から人を見  
ていてガンをつけているのか、ということでトラブルになった。

電車好きで電車を撮っていたが女性か  
ら「私を撮っている」と通報された。

知的障害にもコンビニのコミュニケー  
ションボードは、視覚から入り分かりや  
すい。

お店にある密にならないように間隔を  
開ける足のマークがわかりやすい。

課題に向けてコロナ禍では、マスクではなく、パーティションで対応し  
てもらいたい。

スマホを利用、音声認識ツールも便利。



聞き直して良いんだよという雰囲気を出してもらえたら嬉しい。  
一緒に考えてもらいたい。などが発表された。

## 「わく・わくバーチャル美術館U2022」に作品を出展しました 多機能型事業所はーと

2022年12月3日から9日の障がい者週間の取組の一環として、  
「うつのみやふれあい文化祭」の作品展を、まるごとウェブ上に再現した  
非接触型の展示会「わく・わくバーチャル美術館U2022」が開催されま  
した。

作品が展示されているウェブページは、より多くの方に障がい者のア  
ートに触れてもらい、作品の素晴らしさを体感してほしいという思いで開設さ  
れました。

今年は293点もの作品が展示され、ウェブ上  
にあるVRミュージアム画面では、自分の見たいも  
のを、見たい角度や大きさをを変えて見ることができ  
るほか、現地で作品を見ているかのようなウォーク  
スルー等が可能となっています。



多機能型事業所はーとでは2点の作品を出展しています。ぜひこの機会  
に素敵な作品をご覧ください。

「わく・わくバーチャル美術館U2022」URL <https://ufcf.jp>





## 重度訪問介護従業者養成研修統合課程が終了しました

自立生活センターとちぎ

12月10日、11日、17日の3日間で  
行われた重度訪問介護従業者  
養成研修統合課程が無事終了しました。  
今回は4名の方が受講され、寒い  
中の研修になりましたが、皆さん一生懸命  
受講されていました。より多くの  
の方に介護分野に入ってきてもらいたいです。

受講生の声（アンケートより）

• まだまだ日本という国が優しい国になっていくの  
には障害者の人々や周りの団結が必要だと思った。

但し昔からすると障害者の人達の声掛けに反応  
する人が増えているとの声に少しホッとした。

• 短期間に集中して研修できるのでそれぞれの学  
びが深まり考えやすかった。

• 利用者様側の不安恐怖というものが体感できた。



## 全国障害者スポーツ大会 新種目ボッチャ 白熱！

自立生活センターとちぎ

今年の全国障害者スポーツ

大会から、ボッチャ競技が正式

種目となりました。ボッチャは

白球へ赤や青の球を投げ、どれ

だけ近づけられるか競う競技で、

正確なショットの度に会場か

ら拍手が上がりました。



ぜんこく けい くみ しゅつじょう とちぎ くみ にん しゅつじょう なか  
全国から計54組が 出場し、栃木からは3組6人が 出場、その中で  
おおやまのりこ せきひさ お きん かがや かくせんしゅ あつ  
大山智子さん・関尚央さんペアが金メダルに輝くなど、各選手が熱いプレー  
かんきやく わ  
で観客を沸かせました。

おおやま しし おとうと よしき にな  
大山さんには四肢まひがあり、アシスタントは 弟の善樹さんが担います。  
ふたり いしんでんしん なんど しろたま よ さいしゅうせん せき  
お二人は以心伝心のプレーで何度も白球にピタリと寄せ、最終戦では関さ  
てん たいりょうとくてん せんたい  
んが5点の大量得点で仙台を5-  
しす みこと きん か と  
1で沈め、見事に金メダルと勝ち取  
りました。

おおやま  
大山は「みんなのサポートのお  
おとうと  
かけ。 弟はよくやってくれた。」  
かんしゃ くち  
と感謝を口にしました。ただ、パラ  
こと こんたいかい  
リンピックとは異なり、今大会はア  
シスタントにメダルはありません。



よしき あね きん もら よろこ かた  
それでも善樹さんは「姉貴が金メダルを貰って喜ぶならそれでいい」と語  
りました。

また、ぎん メダルに かがや のうせい あらいみなみ しょうり しゅんかん こぶし  
また、銀メダルに輝いた脳性まひの荒井南美さんは、勝利の瞬間、拳  
つ あ えが お み きん けっか がんば  
を突き上げ笑顔を見せました。銀メダルの結果に「みんなよく頑張った」と  
コメント。チームのどりよく  
努力をたたえました。

## デジタルで絵を描くことの楽しさ

### 多機能型事業所はーと

たきのうがたじぎょうしょ  
多機能型事業所はーとでは、i P a dのアプリを使用し、デジタルでイラ  
つく かつどう おこな  
ストを作る活動も行っています。

「プロクリエイト」という絵を描くアプリでタッチペンを使い描きます。  
おお きのう ふくざつ かみ えが かんかく こと がめんじょう せいさく かんたん  
多くの機能があり複雑で、紙に描く感覚とは異なる画面上での制作は簡単  
ではありません。しかし利用者の皆さんはご自分に合う描き方を研究し、  
りようしゃ みな じぶん あ か かた けんきゅう

オリジナリティあふれる作品<sup>さくひん せいさく</sup>を制作<sup>せいさく</sup>しています。

プロクリエイトで制作<sup>せいさく</sup>を行<sup>おこな</sup>っている利用者<sup>りようしゃ</sup>の一人<sup>ひとり</sup>、  
中山<sup>なかやま</sup>祐太<sup>ゆうた</sup>さん。中山<sup>なかやま</sup>さんは、「トレース」と呼<sup>よ</sup>ばれる、写真<sup>しゃしん</sup>  
の上<sup>うへ</sup>からペン<sup>りんかく</sup>で輪郭<sup>りんかく</sup>などをなぞ<sup>ほうほう</sup>る方法<sup>さまざま</sup>で、様々<sup>かた</sup>な方の  
似顔<sup>にがえ</sup>絵<sup>えが</sup>を描<sup>か</sup>いています。



### 中山<sup>なかやま</sup>さんのコメント

はーとを利用して<sup>りよう</sup>みて、プロクリエイトでは、最初<sup>さいしょ</sup>は、絵<sup>え</sup>を描<sup>えが</sup>くのは、苦手<sup>にがて</sup>  
でしたが、トレース<sup>でき</sup>出来<sup>わ</sup>るって分<sup>いろいろ</sup>かり色々<sup>か</sup>描<sup>わ</sup>けるって分<sup>こころ</sup>かったら心<sup>おど</sup>が躍<sup>り</sup>  
りました。写真<sup>しゃしん</sup>を薄<sup>うす</sup>く表示<sup>ひょうじ</sup>させてなぞ<sup>か</sup>っていただけ<sup>たの</sup>なので、とて<sup>かんたん</sup>も簡単<sup>たの</sup>で楽し  
いデス。最初<sup>さいしょ</sup>は大変<sup>たいへん</sup>でしたが今<sup>いま</sup>現在<sup>げんざい</sup>は、楽し<sup>たの</sup>く通<sup>かよ</sup>わせて頂<sup>いた</sup>いています。自分<sup>じぶん</sup>  
は、やり方<sup>かた</sup>に慣<sup>な</sup>れた今<sup>いま</sup>は、色々<sup>いろいろ</sup>出来<sup>でき</sup>る様<sup>よう</sup>になり幅<sup>はびろ</sup>広く出来<sup>でき</sup>る様<sup>よう</sup>になっ<sup>た</sup>ので、  
楽し<sup>たの</sup>いデス!!□



ファミリーマートに展示<sup>てんじ</sup>させて頂<sup>いた</sup>いたりもしました。何か<sup>なに</sup>描<sup>か</sup>いてほしいイ  
ラストがある場合<sup>ばあい</sup>は、多機能<sup>たきのうがたじぎょうしょ</sup>型事業所<sup>れんらくくだ</sup>はーとにご連絡<sup>れんらくくだ</sup>下さい。

## しょうがいしゃけんりじょうやく がくしゅうかい 障害者権利条約の学習会に参加しました

ながた げんじ  
永田 元司

いばらき かた かいさい しょうがいしゃけんりじょうやく がくしゅうかい  
10月に茨城のCILの方たちが開催した障害者権利条約の学習会に  
かいさい  
参加してきました。

ほにゃらのメンバーが、8月にジュネーブで行わ  
れた日本の権利条約の実施状況について審査す

る建設的対話を見届けに行ってきたということで、  
その報告を聞きながら日本への総括所見について話  
し合いなどをしてきました。総括所見の公式の翻訳

がまだ出ておらず、具体的な内容についてはあまり  
把握できませんでしたが、障害者の地域生活や

教育、精神障害者の強制入院についてなどが特に改善が求められている  
点のようでした。また現地に赴いた傍聴団の障害者権利委員会への懸命  
な働きかけや熱気を聞かせてもらい、今後の日本政府の障害者施策が変  
わっていくことに期待が持てました。

新型コロナの影響で県外に出ることもなく過ごしていましたが、今回の  
学習会の参加で3年ぶりに県外へ出ました。茨城のCILの方とも久しぶ  
りに対面で会うことができ、短時間でしたがとても楽しく有意義な時間を過  
ごせました。



## がくしゅうかい かいさい オンライン学習会が開催されました

すすき てつや  
鈴木 哲也

がつ にち ちいき かいじょ う せいかつ がくしゅうかい  
2月25日に「地域で介助を受けながら生活する学習会」がZOOMを  
つか  
使ったオンラインで開催されました。

じゅうどほうもんかいご しょうがい かがた にんち  
重度訪問介護は障害のない方々にどれほど認知されているのでしょうか。  
すく わたし けが ししまひ じゅうどほうもんかいご むち  
少なくとも私は怪我で四肢麻痺になるまで重度訪問介護について無知な

しゃかいじん かいごほけん さいいこう れいがい さい あり  
社会人でした。とはいえ介護保険についてなら、65歳以降(例外40歳から有)  
しちょうそん う わたし ふくめ りかい かたがた  
に市町村から受けられるサービスとして、私を含め理解されている方々は  
おお  
多いのではないですか。

こうえん にんてい む しほうはんたん じれい ながおかべんごし じしん にんてい  
講演では、認定に向けて司法判断の事例を長岡弁護士より、ご自身の認定の  
けいい なぎ はなし  
経緯を尻さんよりお話いただきました。  
なか かくしちょうそん にんてい  
た。その中で、各市町村により認定に  
バラつきが生じていると感じまし  
げんいん ぜんれい とほ しちょうそん  
た。原因としては前例が乏しく市町村  
しよくいん ちしきぶそく しょう じゅうど  
職員も知識不足が生じている、重度  
ほうもんかいご ていきょう じぎょうしゃ すく  
訪問介護を提供する自業者が少な  
い、など幾つかの問題が挙げられます。



つづ ねんりようしゃ しりょう けんない  
続いて、CIL とちぎが用意してくれた栃木県2022年利用者の資料では、県内  
しちょうそん りようしゃ さ しょう かくしちょうそん じんこうひりつ  
市町村により利用者に差が生じておりました。各市町村の人口比率からす  
ると、重度訪問介護の対象になりえる方が一定数いらっしゃるかと考えるの  
じゅうどほうもんかいご たいしょう かた いったいすう かんが  
が妥当ではないかと、長岡弁護士は述べておりました。

しちょうそん にんてい すいそく  
こちら市町村により認定にバラつきがあるのではと推測することができます。

じゅうどほうもんかいご たいしょう かた とうぜん けんり しえん う  
重度訪問介護の対象になるかもしれない方が、当然の権利として支援を受  
けられれば生活の向上に繋がることでしょう。

にんてい しちょうそんがわ こうへい はんたん もと われわれりようしゃがわ ちしき  
認定する市町村側に公平な判断を求められるように我々利用者側は知識を  
つけてゆかねばならないと考えさせられました。

さいご しゅさい みな きちよう  
最後になりましたが、主催していただきました、CIL とちぎの皆さま、貴重  
こうえん べんごし ながおかけんたろう しょうがいしゃ かいご かんが  
な講演をしてくださいました弁護士の長岡健太郎さん、障害者の介護を考  
かい なぎゆうすけ  
える会の尻裕之さん。ありがとうございました。

がくしゅうかい さいご さんか みな しやしん  
※学習会の最後に参加した皆さんで写真をとりました。↓



ファミリーマートにアート作品<sup>さくひん てんじ</sup>を展示！



たきのうがたじぎょうしょ  
多機能型事業所はーと  
あなたの地域<sup>ちいき</sup>で「わく・わくアート」展<sup>てん</sup>@  
ファミマが 1月27日(金)～2月9日(木)まで  
おこな しょうがいしゅ しゃかいさんか そくしん  
行われました。障害者の社会参加を促進し、  
しみん みなさま しょう ふくし りかい ぶん  
市民の皆様の障がい福祉への理解を深めて  
いただくために、しょうがい かた せいさく  
障害のある方が制作した  
アート作品<sup>さくひん</sup>をファミリーマート店内のイー  
トインスペース<sup>てんじ</sup>に展示する企画です。  
たきのうがたじぎょうしょ せいさく さくひん  
多機能型事業所はーとで制作した作品は、  
ファミリマート東峰店<sup>ひがしみねてん</sup>に展示<sup>てんじ</sup>されました。

また、ただいま東峰店<sup>ひがしみねてん</sup>のイー  
トインスペースには、たきのうがたじぎょうしょ  
多機能型事業所はーとで制作<sup>せいさく</sup>した  
キャンドルやコースター、とちまるくんの缶<sup>かん</sup>バッチ<sup>はんぱい</sup>が販売され  
ています。いちご<sup>かお</sup>の香りがするアロマキャンドルは、「とちおとめ」をイメー

ジした<sup>あか</sup>赤いキャンドルだけではなく、「ミルキーベリー」をイメージした白<sup>しろ</sup>  
いイチゴキャンドルも新作として<sup>しんさく</sup>登場<sup>とうじょう</sup>しました。

ぜひお立ち寄りください！



## 芸術展で作品が展示されました

多機能型事業所は一と

那珂川町小口にある「もうひとつの美術館」で、県障害者芸術展が2月3日から12日まで開催されました。

「もうひとつの美術館」は明治大正の面影を残した旧小口小学校の校舎を再利用して2001年に開設された美術館です。そのため、建物内に入るとタイムスリップしたような不思議な感覚を味わえます。

今回展示された作品はどれも個性豊かで、なかなか目が離せない素敵なものばかりでした。ショップでは、展示されている作品の制作者の方のデザインを使用したポーチや缶バッチ、Tシャツなど様々なものが置いてあり、思わず手に取りたくなるほどオシャレで魅力的でした。

多機能型事業所は一とからは、中山祐太さんが制作した「カンセキスタジアムに観戦に来た女性」というデジタルアートです。背景や表情など細かい部分までこだわり、時間をかけて描きました。中村さんのこれからの素敵な作品にもぜひご期待ください。



きかんしこうどくかいいんほしゅうちゅう

### 機関誌購読会員募集中

自立生活センターとちぎの機関誌（年3回発行）の購読をしてくれる

会員を募集しています。会員として登録してくれた方には、CILとち

ぎの様々なイベントのご案内もいたします。年会費 300円